

平成25年度野生鳥獣による農作物被害の状況について

平成25年度の野生鳥獣による農作物に対する被害状況がまとまりましたので、ご報告いたします。

H25被害額 119,112千円 (前年度比90%)
(H24被害額 131,880千円)

1 獣類別順位及び被害の概要

1位：イノシシ 40,455千円 (前年度比97% H24年度2位)

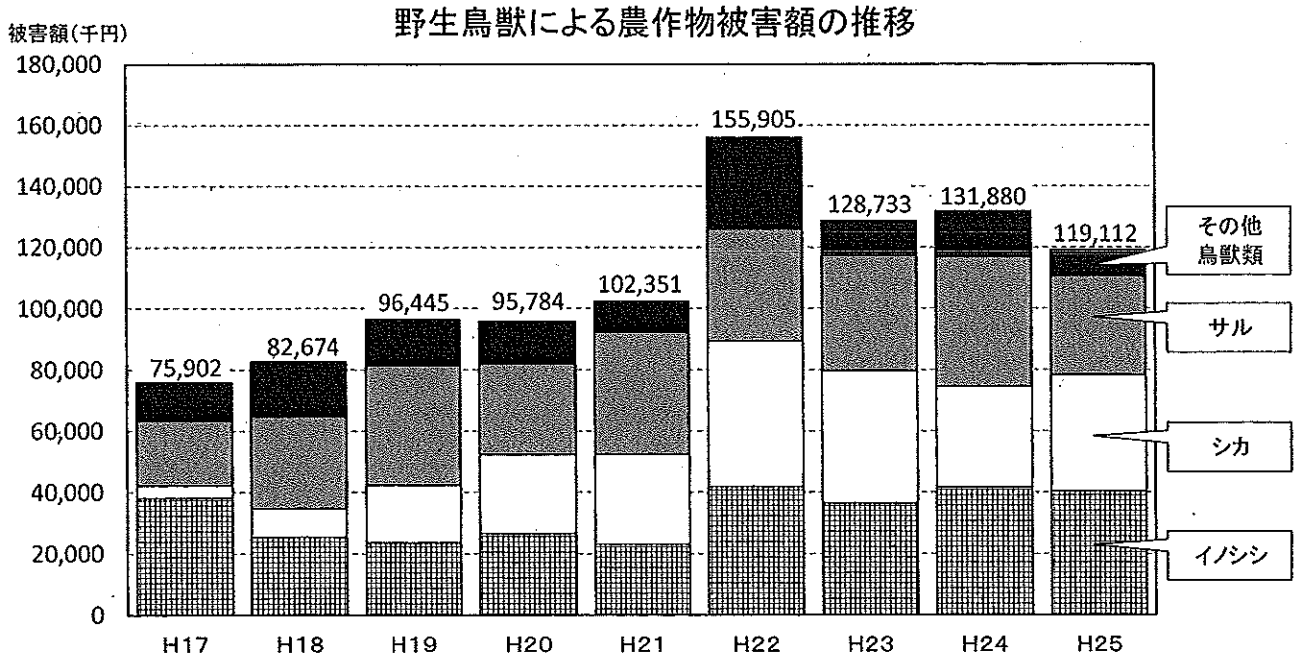
被害額はここ数年横ばいでの推移となっている。
水稻の被害額が最も多く全体の45%を占めている。

2位：シカ 37,925千円 (前年度比115% H24年度3位)

樹園地への出没が増加し、果実の食害に加え、樹体への食害による被害が増え、果樹の被害額が全体の60%を占めている。

3位：サル 32,337千円 (前年度比76% H24年度1位)

被害額に占める割合は果樹及び野菜が共に45%となっている。



2 今後の方針

本年4月に設置した「鳥獣被害対策統括本部」を中心に、市町村等関係機関との連携を図り、侵入防止柵の整備や効果的な捕獲の実施などによる総合的な被害対策を推進し、被害の軽減に取り組む。